

## 2019年3月理事会議事録

日 時：2019年3月23日（土）14：00～17：50

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・近藤英夫・矢島國雄・植田 真・小笠原永隆・小澤正人・河村好光・  
菊池誠一・佐古和枝・佐々木和博・佐々木憲一・杉井 健・関根達人・滝沢 誠  
・谷畑美帆・都築恵美子・中嶋郁夫・萩野谷 悟・堀内秀樹・馬淵和雄・宮里  
修・長瀬 衛、監事：唐澤至朗・橋本裕行、(事務局：林 純子・堀田菜摘子)  
欠 席：大島直行・松崎元樹  
進 行：関根達人  
議 長：谷川章雄

会議に先立ち、次期事務局長の高麗 正氏の紹介があった。

関根理事から、本日の出席者は24名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

### 会員の訃報について

関根理事から、千葉県の高橋康男会員が2018年11月5日、徳島県の一山 典会員が2019年2月18日、長野県の翠川泰弘会員が2019年2月25日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

### 議案第512号 2019年度予算について

都築理事から、本年度の支出実績を踏まえて各委員会の予算要求の見直しを行い、2019年度予算案の提示があった。2019年度予算案は、繰越剰余金の見込額を盛り込んだ収入見込み額に、各委員会から提出された予算要求額が収まったため、根拠のない増額要求以外は、各事業でほぼ要求通りとしたとの説明があり、原案通り承認した。また、平成28年熊本地震募金については、被災現地で行うシンポジウムに関わる費用が新たな事業として計上され、原案通り承認した。なお、唐澤監事から、理事会で承認された事業が予算要求の対象となることが確認された。

### 議案第513号 第9回日本考古学協会賞について

関根理事から、3月6日（水）に選考委員会を開催し、①応募のあった14件の審査を行い、大賞1名、奨励賞2名を選考した。②優秀論文賞については、機関誌『日本考古学』編集委員会並びに英文機関誌編集委員会からそれぞれ1名の推薦者があったとの報告があり、審議の結果、原案通り承認した。

### 議案第514号 名誉会員の推薦について

近藤副会長から、3月23日（土）午前中に名誉会員選考委員会を開催し、在籍58年で委員（現在の理事）を歴任した坂誥秀一会員を、「名誉会員に関する規定・内規」に照らし、

日本考古学協会に顕著な功績があったことから名誉会員に推薦するとの説明があり、審議の結果、原案通り承認し、総会に諮ることとなった。

#### **議案第515号 2019年度永年在籍会員の顕彰について**

滝沢理事から、総務会では、70周年記念事業の一環として第84回総会で実施した永年在籍会員の顕彰について、今後も継続して実施したいと考えているとの提案があった。対象は50年在籍した正会員とし、表彰方法としては、総会時の表彰式では名簿の一覧を提示した上で代表者のみが登壇する等、周年事業より簡便に行うこととしたいとの説明があり、原案通り承認した。なお、対象者は、表彰される総会時に正会員として在籍していることを前提とし、2019年度は1966～1969年度に入会した正会員を対象とすることで承認した。

#### **議案第516号 「会員の顕彰に関する内規」の一部改正について**

滝沢理事から、続けて、永年在籍会員を毎年顕彰するにあたり、「会員の顕彰に関する内規」の修正が必要であり、①永年在籍者を「50年在籍」した正会員として明記する。②永年在籍者には、「シニア・フェロー」の称号を付与し、在籍中は称号を使用できるとするとの改正案が説明された。審議の結果、一部修正した上で、改正を承認した。

#### **議案第517号 「アイヌ民族に関する研究についての倫理指針（仮称）」について**

堀内理事から、アイヌラウンドテーブルでは、「研究倫理検討委員会」の設置を検討している。その設置にあたり、準備委員会では倫理指針の作成を進めているとの報告があった。続けて、準備委員会に参加している佐藤宏之前理事から「アイヌ民族に関する研究についての研究倫理指針（案）」の内容が説明され、各理事に意見が求められた。今後は各学協会の意見を集約した上で、(公財)北海道アイヌ協会のホームページ上でパブリックコメントを求め、指針を策定する予定であり、パブリックコメント後に改めて指針案が提示されることとなった。

#### **議案第518号 英文機関誌編集委員会委員長の任期延長について**

小澤理事から、英文機関誌編集委員会では、2018年度から『Japanese Journal of Archaeology』の編集・発行以外に投稿数の増加のための事業を新規に展開し始めたところであり、そのため、日本考古学協会規則第29条第1項に基づき、2018年度で任期の終了する溝口孝司委員長の1年間の任期延長を求めたいとの説明があり、審議の結果、原案通り承認した。

#### **議案第519号 埋蔵文化財保護対策委員会委員の選任について**

小笠原理事から、北海道の委員について転居に伴う1名の委員交代、並びに長崎県の委員について欠員となっていた1名の追加推薦があり、選考を承認した。

#### **議案第520号 臨時保育室設置に関するアンケートについて**

近藤副会長から、広報委員会では、第85回総会で設置する臨時保育室について、利用者・会員・一般それぞれを対象にアンケートを実施して実態調査を行いたいとの説明があ

り、審議の結果、アンケート内容を一部修正の上、第85回総会で実施することを承認した。

#### **議案第521号 正会員入会申込みに関する案内文等の一部修正について**

植田理事から、入会資格審査委員会から指摘のあった正会員の入会案内の年齢表記、及び旧姓・改姓の記載不要案が説明され、訂正案について意見が求められた。審議の結果、①年齢表記は「正会員入会資格基準に関する内規」に従い、入会案内「正会員入会申込み受付のお知らせ」の有資格者を「3月31日以前に生まれた方」は「4月1日以前に生まれた方」に修正する。②「入会申込書」の旧姓については、必須ではないものの入会審査時に改姓前の苗字で業績が提出されて必要となる事例があるため、欄としては残すこととし、「別姓」との記載に変更した上で、改姓日の記載は無くし、記載が必要な申込者のみ記入してもらうように入会案内文に明記することで承認した。

#### **議案第522号 退会の承認について**

佐々木和博理事から、北海道の\*会員・\*会員、岩手県の\*会員、東京都の\*会員、石川県の\*会員・\*会員、長野県の\*会員、静岡県の\*会員、山口県の\*会員、長崎県の\*会員、熊本県の\*会員、熊本県の\*会員の計12名から2018年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、退会を承認した。

#### **議案第523号 事務局職員の採用について**

谷川会長から、事務局主事1名が本年3月末をもって退職することから、後任人事として、定款第48条に則り、永年事務局で勤務してきた臨時職員出口まどかを候補者として推薦したいとの説明があり、審議の結果、採用を承認した。

#### **報告第708号 第85回（2019年度）総会について**

小笠原理事から、第85回総会日程並びに理事役割分担（案）の説明があり、了承した。

#### **報告第709号 事務局職員の退職について**

谷川会長から、堀田主事が本年3月末をもって退職することが報告され、了承した。

#### **報告第710号 総務会報告**

小澤理事から、3月14日（木）に総務会を開催し、理事会議事の事前整理・調整を行ったこと、著作権規定の管理・運営マニュアルの作成について検討したことが報告され、了承した。

#### **報告第711号 将来構想検討小委員会報告**

滝沢理事から、3月14日に委員会を開催し、①新たな会員名簿の作成については、個人情報への取扱いに慎重さが求められており、困難であるとの方向性が示された。②財務会計について、事務量軽減のため会計ソフトの導入を検討していく。③総会における研究発表の参加費の検討に伴い、セッションに発表申込料を課すことや、非会員のレジュメ販売を促進する方策等について検討を行ったとの報告があり、了承した。

#### 報告第712号 2018年度事業報告について

萩野谷理事から、各委員会担当理事に、2018年度の決算監査に伴い今年度の事業報告の期日までの提出が求められた。

#### 報告第713号 平成28年熊本地震対策特別委員会報告

杉井理事から、熊本県の最新状況について説明され、①埋蔵文化財の調査については調査のピークは今年度で過ぎ、2019年度で支援職員派遣が終了する予定である。②本年1月3日の地震で江田船山古墳の石棺が被災し、対策が求められる。③平成28年熊本地震で天井が陥没した井寺古墳について、構造が崩れていることが内部確認で明らかとなり、復旧にかなり時間がかかる見通しであるとの報告があり、了承した。

#### 報告第714号 陵墓報告

杉井理事から、本年度の立入り観察を2月22日（金）に、高屋築山古墳（安閑天皇古市高屋丘陵）を対象とし、当会からは杉井理事が参加した。また、立入り観察後に実施した事後検討会には杉井理事と共に滝沢理事が参加したとの報告があり、了承した。

#### 報告第715号 アイヌラウンドテーブル報告

堀内理事から、①1月27日（日）に東京工業大学で「考古学・人類学とアイヌ民族ーヒトと暮らしを探るー」をテーマに公開講演会を開催した。②2月15日（金）にアイヌラウンドテーブルを開催し、「研究倫理検討委員会」の立ち上げにあたり準備状況を確認し、また、概説書の刊行について日程等を検討したとの報告があった。続けて関根理事から、研究倫理指針の策定にあたり、北海道アイヌ協会・日本人類学会・日本考古学協会に、日本文化人類学会が加わる枠組みとなっているとの補足があり、了承した。

#### 報告第716号 英文機関誌編集委員会報告

小澤理事から、『Japanese Journal of Archaeology』（以下、JJA）Vol. 6, No. 2を2019年3月に刊行し、本年度の全ての事業を終了したとの報告があり、科学研究費補助金の収支簿が提示され、了承した。橋本監事から、2019年度は年度当初に執行計画を策定し、計画通りに事業・支出が行えるように求められた。

#### 報告第717号 研究環境検討委員会報告

馬淵理事から、2月3日（日）に委員会を開催し、これまでのアンケート結果を総括した「提言」を出すにあたり内容の整理を行ったとの報告があり、了承した。

#### 報告第718号 埋蔵文化財保護対策委員会報告

馬淵理事から、2019年1月20日（日）に1月幹事会を、2月16日（土）に2月幹事会を開催し、①基山町基肆城及び長崎市長崎県庁跡地について1月20日・21日に現地訪問を行った。その結果を受けて、長崎県庁跡地に所在する遺跡の取り扱いに関する要望書の提出を協議し、3月7日付で提出した。②香川県丸亀市丸亀城跡の石垣が豪雨や台風で崩落し、

復元方法が課題であるとの報告があり、注視していく。③港区済海寺の伊予松山藩主久松家墓所の改葬に伴う調査について、現状把握のために見学を求める予定である。④鴨川市・南房総市に所在する嶺岡牧について、1月24日に保存要望書を提出した。⑤3月幹事会后に、「埋蔵文化財の活用の在り方を考える」をテーマにワークショップを行うことを確認したとの報告があった。なお、3月16日（土）に、非会員の講師1名を招聘してワークショップを実施し、研究環境検討委員会委員も同席した。続けて、近藤理事から、文化庁懇談を3月20日（水）に行ったとの補足説明があり、了承した。

以 上